

氏名	川 田 清 弥
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1247 号
学位授与の日付	昭和56年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	妊娠ラットにおける鉄欠乏性貧血及びその母仔への影響に関する実験的研究
論文審査委員	教授 粟井通泰 教授 木村郁郎 教授 大本 浩

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

妊婦は鉄欠乏に陥る傾向が指摘されているが、そのことが胎児に与える影響については不明である。そこで著者は実験的にラットを鉄欠乏にさせその母仔への影響を検討した。

母獣は妊娠が進むにつれ、ヒトと同様に貧血傾向を示した。貯蔵鉄についても妊娠経過とともに減少し、特に除鉄妊娠群と正常妊娠群の比較検討では、除鉄妊娠群で低下傾向を認めたが、有意の差ではなかった。Ferrokinesicsの検討では非妊時に比べ妊娠時放射性活性の急速な血中からの消失がみられ、この時投与された鉄の大部分は胎仔へ移行し、母獣内での利用は極めて少ないものであった。次に除鉄妊娠の胎仔への影響は子宮内胎仔発育遅延として表現され、対照群に比べ有意に低体重であった。また胎仔のHb,血清鉄,貯蔵鉄においても対照胎仔に比べて著明な減少がみられた。このように除鉄による影響は、母獣に比べ胎仔側により大きくあらわれた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は妊娠ラットにおける鉄欠乏性貧血及びその母仔への影響をしらべた実験的な研究で妊娠直後から母体を除鉄飼料を与えて鉄欠乏状態にし之が母仔へ与える影響を新たに開発されたトランスフェリン-⁵⁹Feなどを用いて詳細にしらべたものである。一定の限度を越えた母体の鉄欠乏が胎児に重大な影響を与え得ることを明らかにした。これらは価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。